

人間文化科で礼法・着付けの開講式を行いました（7/8）

7月8日（水）4時間目、8名の講師をお招きして、3年次に人間文化科の生徒が取り組む課題研究の一環として、礼法・着付けの開講式が行われました。

毎年、加藤史子先生（桐華流日本きもの指導者協会理事長）を中心とした講師の方々から、基本的な立ち居振る舞いから着物の着付けまで丁寧なご指導をいただいています。例年4月に開講式を行い、12月まで月に1回のペースで計8回の授業が行われる予定でした。しかし、今年は、新型コロナウイルスの影響により2ヵ月遅いスタートとなりました。

開講式では、本校卒業生で加藤先生のお母様でもある「岩佐佳子さん」が書かれたテキストを使って学ぶこと、「着物は子孫へ引き継ぐことのできる日本の文化である」ことなどを先生からお聞きし、生徒達は改めて気持ちを引き締めていました。開講式ののち、生徒たちが作製した浴衣を用いて授業が行われました。



開講式①（校長あいさつ）



開講式②（加藤先生の訓辞）



着付け①（今年度は浴衣を用います）



着付け②（自分で縫った浴衣を着用）